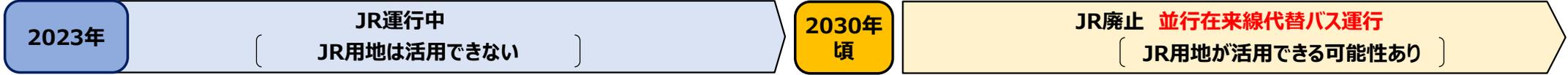


条件1：並行在来線代替バスの運行年である2030年までには、必ず並行在来線代替バスのバス停の整備が必要となる。

条件2：整備にあたって、廃線後のJR用地を活用する場合は、2031年以降に施工可能となる。

⇒2030年を目標年とする時間軸に対し、**暫定整備にて対応（イメージパターンA）**、**本施工整備にて対応（イメージパターンB）**の2択が想定される。



イメージパターンA案

現JR用地を交通空間として活用するため
暫定整備を経て、新たな交通結節点を整備



現況の駅前広場

交通空間とは
交通において乗り換えのための
人や車両を結節・収容する空間



イメージパターンB案

現JR用地を2030年以降に環境空間として
活用することを想定し、2030年までに新たな
交通空間を整備

環境空間とは
憩いや集い、公共的
サービスを提供するた
めの環境となる空間

暫定整備イメージ 駅前広場+暫定整備

交通空間の暫定整備

- ・十字街交差点バス停の整備
- ・並行在来線代替バスのバス停の整備

交通空間
環境空間

補足説明
2030年までに並行在来線代替バスのバス停の整備を行うことが必要である一方、JR運行時にはJR用地を活用した交通空間の整備を行うことができない。
従って、JR用地を活用した最終整備形態にあたっては、暫定のステップが不可欠となる。
⇒本施工を拡張していくタイプの暫定整備を進める配置計画となりにくい。



本施工整備イメージ 鉄道西側の整備における交通結節点整備

交通空間の再編整備

- ・既存のバス、タクシー、送迎の再編整備
- ・十字街交差点バス停の整備
- ・並行在来線代替バスのバス停の整備

環境空間の再編整備



JR廃止 並行在来線代替バス運行

JR用地が活用できる可能性あり

本施工整備イメージ 鉄道西側と東側にて交通結節点整備

交通空間の再編整備

- ・既存のバス、タクシー、送迎の再編整備
- ・十字街交差点バス停の整備
- ・並行在来線代替バスのバス停の整備

環境空間整備
鉄道で分断されていた
東西連絡の強化

追加整備イメージ 交通結節点整備に加え追加で鉄道東側に環境空間を整備

環境空間の追加整備

鉄道で分断されていた
東西連絡の強化

イメージパターンA（暫定⇒本施工）：並行在来線代替バスの運行サービスの決定を踏まえて計画可能。スケジュールは変則的。効率性は低い。
 イメージパターンB（2030年までに交通空間本施工整備）：公有地内での整備のため、余市町が主導的に整備スケジュールを作成することが可能。

<各整備パターンの特徴>

パターン		イメージパターンA 暫定整備⇒本施工整備	イメージパターンB 2030年までに本施工整備
整備スケジュール	2029年度まで	暫定整備	鉄道西側を本施工整備
	2030年度	暫定供用	本供用
	2031年度以降	本施工整備	東西連絡の強化
前提条件		交通空間として廃線後のJR用地を活用することが前提。	交通空間として廃線後のJR用地を活用することを前提としない。
並行在来線代替バスへの対応		○ 運行サービスが決まっていない並行在来線代替バスに対して、決定後に本施工の整備が可能。	△ 並行在来線代替バスの運行サービスは、見込みで計画を立てる必要がある。
効率性		△ 暫定というステップを踏むため、最終形態までの整備費用は割高となる。	◎ 暫定というステップを踏まないため、整備費用は割高とならない。
環境空間の整備		◎ 廃線後のJR用地を活用した十分に広い環境空間（広場）を整備することが可能。	○ 廃線後のJR用地を活用した十分に広い環境空間（広場）を整備することができない。ただし、JR廃線後は追加整備を行うことが可能。
交通空間の整備		◎ JR用地を活用した車両動線やアクセスを検討することが可能。	○ 現状のような国道5号への車両動線やアクセスの検討に限定される。
用地取得		△ JR用地に関する協議交渉（取得費用）が必要。	◎ 基本は公有地内での整備であるため、用地取得が容易。
ネットワーク（アクセス道路）		△ 現状の道路網を見直す必要性が考えられる。	△ 現状の道路網では非効率となる場合が考えられる。

<各整備パターンのスケジュール>

	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度	2025年度 R7年度	2026年度 R8年度	2027年度 R9年度	2028年度 R10年度	2029年度 R11年度	2030年度 R12年度	2031年度 以降
イメージパターンA 暫定⇒本施工整備	●●●●● 暫定整備の計画・協議					●●●●● 暫定整備の設計・暫定整備		●●●●● 暫定供用開始	
	●●●●● 並行在来線代替バスに関する協議、JR用地に関する協議、整備計画					●●●●● 基本・実施設計			●●●●● 本施工
イメージパターンB 2030年までに 交通空間の本施工整備	●●●●● 整備計画			●●●●● 基本・実施設計		●●●●● 本施工		●●●●● 供用開始	
								●●●●● 追加整備	